

を図るところからも平日の利用について検討してまいります。

### パ・ママ応援ショップ事業の

### 拡充と当市独自の

### さらなる展開を

### 五十嵐恵千子

(問) 埼玉県が実施しています  
パ・ママ応援ショップ事業  
とは、地域・企業・行政が一  
体となって子育て家庭を応援  
する機運を盛り上げようと昨  
年5月からスタートさせた事  
業で、中学3年生までの子ど  
もや妊娠中の女性がいる家庭、  
県内の63万世帯が対象となっ  
ています。市町村を通じて配  
布される「パ・ママ応援シ  
ョップカード」を協賛店舗で  
提示すると、各店が独自の特  
典や割引サービスを提供する  
仕組みで、県内6661店舗  
に広がっています。当市にお  
ける事業の取り組み実施状況  
は、また、当市独自で「高齢  
者応援ショップ事業」も新展  
開し、さらなる市内商業の活

性を。

(答)市長 現在、51店舗に協賛  
いただいています。窓口は子  
育て支援課ですが、今後も商  
工会と連携し、PRを行い、  
店舗数の拡大と利用しやすく  
なるよう努めてまいります。

(答)市民生活部長 「高齢者  
応援ショップ事業」を含めた新  
たな取り組みについて商工会  
や商業者と十分な検討をし、  
商業の活性化に取り組みます。

### 学校耐震化の完全実施を

(問) 財政状況が厳しい中、市  
内の小中学校は合理的に大規  
模改修と併せて耐震改修が実  
施されていますが、生命を最  
優先とし、耐震化の加速を。  
また、幼稚園・保育所など民  
間建物も合わせた当市「建築  
物耐震改修促進計画」策定を。

(答)教育長 22年度までに耐震  
診断を終了し、大規模改修・  
耐震補強は、校舎24年度まで  
に、体育館は27年度までに完  
了を考えています。耐震補  
強を優先して実施するかなど、  
十分検討してまいります。

(答)都市建設部長 前倒しで今  
年度中に当市の計画策定がで  
きるよう努力してまいります。

### 高齢者の難聴取り組み推進を

(答)市長 異常発見の場合、医  
療機関への受診勧奨に努める。

### 介護支援

### ボランティア制度の

### 導入について

### 小野 潔

(問) ①ききょう苑、平成園の  
入所・運営の状況と待機者の  
現状と課題、今後の展望につ  
いて、②東京都稲城市が試行  
のに行った、「65歳以上の方が、  
市の指定した特養など福祉施  
設や団体でボランティア活動  
を行い、介護支援ボランティア  
ア評価ポイントを転換交付金  
として換金し、自身の介護保  
険料の軽減に充てる」という  
介護支援ボランティア制度の  
導入について。

(答)市長 第4期介護保険事業  
計画策定にあたり、介護職員  
の具体的な確保策を盛り込ん  
でまいります。次に介護支援  
ボランティア制度について「必  
要な制度であると感している」

との所感があり、前向きに検  
討してまいります。

### 都市計画税について

(問) 都市計画税導入にあたり、  
0.2%の予定税率の根拠、また  
4億5千万円程の税収アップ  
による福祉、教育等への予算  
配分の変化。次に省エネルギー  
対策として、太陽光と風力  
を利用したハイブリット照明  
灯を街灯などに設置しては。  
また今後新設予定の小中学校  
や公共施設へ太陽光発電シス  
テムを導入してはどうか。

(答)市長 0.2%の税率は、現在  
導入している38市の平均値の  
0.24%を参考にそれを下回  
る税率とした。予算配分は、  
教育施設や地域の環境整備を  
進めていく配分としたい。武  
操跡地の区画整理事業等にハ  
イブリット照明灯の設置を事  
業者に強く要望する。また新  
設の施設で太陽光発電システ  
ムの導入を検討していきたい。

### 喫煙スペースの設置を

(問) 駅周辺の環境美化を図る  
ため、駅前に喫煙スペースの  
設置をすべきである。

(答)市民生活部長 駅周辺でキ  
ャンペーンを実施し、美しい  
街づくりのためにも、喫煙ス  
ペースを設置してまいります。

### 食料自給率向上へ

### 必要な農業政策は

### 高野 昇

(問) 穀物をはじめ食料の価格  
が世界的に高騰し途上国では  
各地で食料が入手困難となっ  
ている。日本は、食料輸入自  
由化路線を進め国内生産を縮  
小してきた結果、食料自給率  
が39%まで低下、自給率向上  
に政治の責任を果たすことが  
必要。市内米作農家の実態と  
必要な施策は。

(答)市長 世界的な食料の需給  
ひっ迫と価格高騰は、現在と  
将来にわたる国民への食料安  
定供給の大きな不安要因と

